

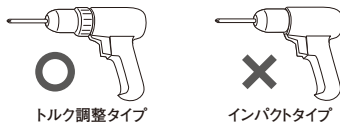
施工のポイント(寸法単位:mm)

△ 安全上のご注意

- 柱や下地の強度が不十分な場合は施工しない。
※ねじをねじ込み、柔らかい木材や腐れ、虫食いなど、
下地の状況を確認してください。

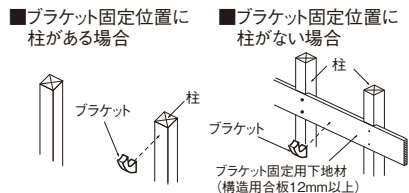
○ PB 12t 柱	合板12t 柱	PB12t 柱
×	・しっくい ・塗り壁など	・胴縁 ・化粧合板 ・PB12tなど

- 仮固定中の丸棒手すりとブラケットは故意に丸棒手すりを揺すったり、力を加えたりしない。
丸棒手すり、ブラケットが落下し、けがをするおそれがあります。
- プラスターボードの二重貼りや胴縁施工GL工法、軽鉄など、柱や下地材から壁仕上げ表面まで12mmを超える場合は施工しない。
ブラケットの外れ、転落、転倒事故の原因になります。
- 潤滑油などの薬品を用いてふかない。
金具の破損の原因になるおそれがあります。
- 各部位を取り付ける際、インパクトタイプの電動ドライバーを使用しない。
ねじの破損や、取り付け不安定による丸棒手すりの外れ、転落・転倒事故の原因になります。

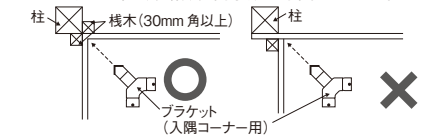


- 本部材は、住宅の屋内においてのみ使用する。ただし浴室などの湿気の多い場所での使用はさける。
- 仮固定作業中は施工場所周囲に安全防護柵を施すなど、丸棒手すりが使用できないことがわかるようにする。
- 部材の仮置き保管は、湿気や直射日光の当たる場所を避け、床面が水平な場所に保管する。
くずれや材割れなどにより丸棒手すり部材が外れたり、折れたりして、転落事故の原因になります。
- 取り付けは必ず取り付け工事が施工する。
部材の反り、ネジレが発生し、取り付け不安定による丸棒手すりの外れ、転落・転倒事故の原因となります。
- 必ず保護具(手袋・防護メガネなど)を着用の上、施工する。
けがをする原因になります。

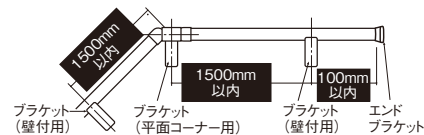
- ブラケットの固定位置には必ず柱(木材)があることを確認する。または下地材(構造用合板12mm以上)を柱の所定の位置に取り付ける(下図参照)。
ブラケットの外れ、転落・転倒事故の原因になります。



- ブラケット(入隅コーナー用)の固定位置には、図のように必ず柱と桟木(2か所)があることを確認する。
ブラケットの外れ、転落、転倒事故の原因になります。



- カップのシャフト軸・ナット部は必ず本体に水平になるように取り付ける。
カバーがきちんと締まらず、丸棒手すりが落ちけがをするおそれがあります。
- ブラケット固定の最終工程で、着脱ナットの増し締めを必ず行う。
丸棒手すりの外れ、転落、転倒事故の原因になります。
- ブラケットの取り付け間隔は1500mm以内にする。



- エンドブラケットやフレキシブルジョイントなど金具部材がくる場合、金具から100mm以内にブラケットを取り付ける。
丸棒手すり本体やブラケットが折れ、転落・転倒事故の原因になります。



- 天井、床に取り付けたスタート金具から100mm以内に笠木ブラケットを取り付ける。
- 笠木ブラケット同士の間隔は1500mm以内に納める。
取り付け不安定による手すりの外れ、転落・転倒事故の原因になります。
- トルクの調整できる電動ドライバーを使い、ねじの空転やねじがねじ切れることのないようトルクを調整する。
- 材割れ防止のために、必ず目地を下にして取り付ける。
取り付け不安定による手すりの外れ、転落・転倒事故の原因になります。
- 丸棒手すりに必ず下穴(約φ2.0mm)をあけてからねじを取り付ける。
ねじが破損するおそれがあります。
- 部材の固定は材割れ防止のため必ず下穴をあけ、同梱しているねじを使用し確実に締め込む。
ねじの突出によるけがや、保持力不足による丸棒手すりの外れ、転落・転倒事故の原因になります。
- 本丸棒手すりには、「梱包内容の確認と施工上の注意」に記載されている金具を使用する。
ねじやブラケットが折れ、転落・転倒事故の原因になります。
- 施工中に丸棒手すりに傷をつけて化粧シートが破れたり、めくれたりした場合は使用を中止し、すみやかに補修依頼を行う。
そのまま使用すると手を切ったり、けがをする原因になります。
- カットの際は養生シートの上で行う。
アルミ粉が飛散し、周りを傷つける原因になります。

施工前の確認

- 開梱したら、部材に損傷がないかご確認ください。
躯体へ取り付け後の損傷クレームについては責任を負えませんので施工前にご確認ください。

施工上のご注意

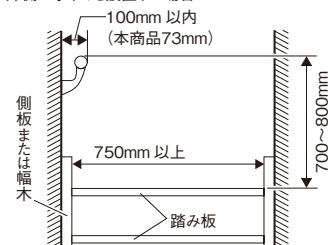
- 塗装済み部材をシンナーなどでふかないでください。
色むら・ツヤむらの原因になります。
- 次亜塩素系洗剤(漂白剤、カビ用洗剤など)でふかないでください。金属部のサビの原因になります。

手すりの設置位置について

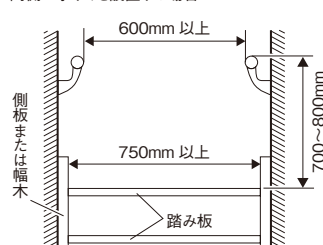
- 図のように手すりの取り付け高さは段鼻、床の位置から700~800mmが一般的です。
(使用される方の使いやすい位置に設置してください。)
- 階段有効幅は建築基準法に基づき、750mm以上確保してください。
なお、図のように片側へ取り付けの場合、手すりの出幅が100mm(本商品の手すり出幅は73mmです)以内であれば階段有効幅の750mmに算入することができます。手すりを両側へ取り付けの場合は、手すりの先端間が600mm以上あることが必要です。(この場合でも階段自体の有効幅は750mm以上必要です。)

- 手すりの取り付け位置寸法を厳守してください。

片側に手すりを設置する場合



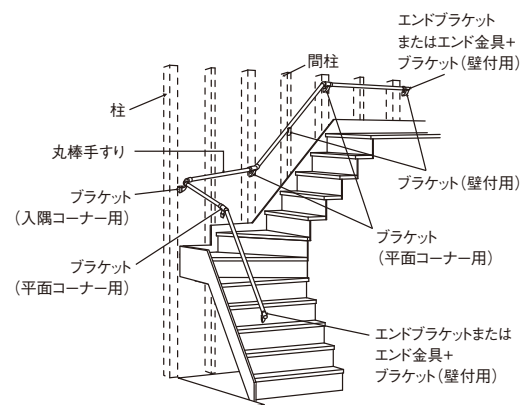
両側に手すりを設置する場合



施工概要

階段姿図例(90°3段廻り12段)

※階段形態により手すりの取り付けパターンが異なりますが、施工方法は共通となりますので、下記パターンを参考に施工してください。



新商品

内装ドア

開き戸・引戸
折れ戸
戸襖ドア・戸襖引戸
幅広上吊り引戸
自動ドア

しきり窓

室内窓

収納用
建具

折れ戸
3枚連動引戸
開き扉

収納用
内部パーツ

玄関用
収納

クロークボックス
エントランスパーツ
コンポリア

造作部材・
腰壁部材

スリット格子

窓枠セット
ジャストカット
オーダー

インテリア
カウンター

階段・
手すり

防音建材

室内物干し
ユニット

床下収納
ユニット

点検口

はしご
ユニット

補修用
部材

連続手すり 1500mmピッチタイプ・ストロング

ベリティス
商品 P.1164



施工のポイント(寸法単位:mm)

施工手順

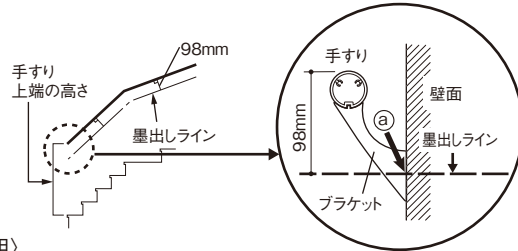
- 1 墨出し
- 2 ブラケットの固定
- 3 丸棒手すりの固定
- 4 ブラケットと着脱ナットの分離
- 5 【クロス貼り工程】
- 6 ブラケットの固定(完全固定)
- 7 カバーの取り付け

※クロス貼り後の施工の場合、4 5 は不要です。

■墨出し

〈直線部〜勾配部〉

段鼻からの手すりの高さを基準に、
ブラケットと壁の接触面の中央部③に
合わせたラインを墨出しする。



■ブラケットの位置合わせ方法

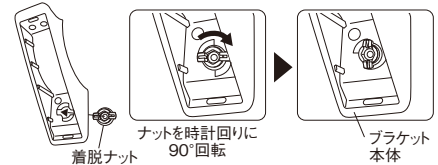
〈壁付用、平面コーナー用、入隅コーナー用〉

右図吹き出し部のようにブラケットと壁の接触面の中央部③を
ブラケット取付位置(墨出しライン)と水平に合わせる。

■施工前のご注意

ブラケットを仮固定する前に

1. ブラケット本体と付属の着脱ナットがあらかじめ装着されていることを確認してください。
2. 着脱ナットは時計回りに90°回転させてしっかりと装着してください。



ブラケット(壁付け用)の固定および丸棒手すりの固定

■梱包内容の確認と施工上の注意

部材袋(A) (仮固定用) 着脱ナット取付用 ねじ 1本 皿φ4×50 丸棒手すり取付用ねじ 2本 ナベφ4×16 ブラケット 本体 着脱ナット	部材は2種類の袋に 分かれています。	部材袋(B) (本固定用) カバー 赤袋 カバー 裏面 ブラケット 固定用 ねじ 2本 皿φ4×50 ねじはカバーの裏面 に貼付けてあります。
--	-----------------------	---

工程
 手順1 ブラケットの仮固定
 手順2 丸棒手すりの固定

【クロス貼り工程】
 ※クロス貼りより前に
仮施工する場合 手順3

手順4 着脱ナットの増締め
 手順5 ブラケットの本固定

【クロス貼り工程】※クロス貼りより前に仮施工する場合

手順4 着脱ナットの固定

再びブラケットを着脱ナットに装着し
着脱ナットのねじを最後まで締める。



壁に固定する前に
エンドブラケットが取り付けにくい
場合はブラケット(壁付け用)を
壁に固定する前にエンドブラケ
ットを施工してください。エンドブラ
ケットの施工手順は(P.390参照)

手順5 ブラケットの固定

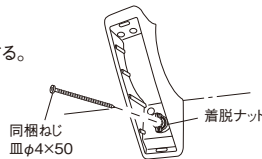
同梱ねじ(赤袋、カバー梱包分)で
ブラケットの残り2か所を固定する。



手順1 壁にブラケットを仮固定する

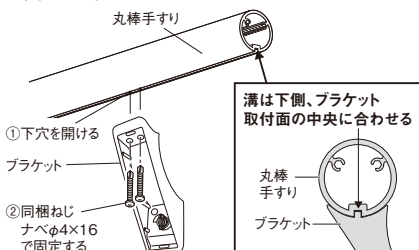
ブラケットに装着した着脱ナットを柱や下地材に仮止め固定する。

注意 ねじを壁に深く打ち込みすぎないでください。
着脱ナットが回らなくなるおそれがあります。



手順2 ブラケットと丸棒手すりの固定

- ① 丸棒手すりにブラケットをあて、下穴の位置を確認し、
下穴(約φ2.0mm)をあける。
- ② 受け座と手すりを密着させ、同梱ねじ(φ4×16mm)で
固定する。



手順3 丸棒手すりと着脱ナットの分離(着脱する場合)

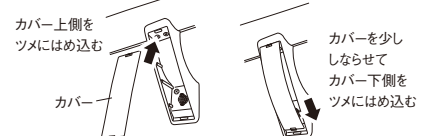
着脱ナットを反時計回りに回し、手すりと着脱ナットを
分離させる。



※この時点では、着脱ナットのみが
壁にねじで取り付けられている。

手順6 ブラケットにカバーを取り付ける

- ① カバーをブラケットの
上側のツメに合わせ
てはめ込む。
- ② カバーを少ししなら
せて、ブラケット下側
のツメに差し込む。



※カバーの取り外しはカバー下部の
凹部にドライバーなどを引っ掛けて
外すことができます。

注意

- ・ブラケット固定の最終工程で、
着脱ナットの増し締めを必ず行う
[手順4]
- ・同梱ねじ(赤袋、カバー梱包分)で
残り2か所の固定を必ず行う
[手順5]

丸棒手すりの外れ、転落、転倒事故の原因になります。



警告	
禁止	仮固定中の手すりとブラケットは故意に手すりを 揺すったり、力を加えたりしない。 手すり、ブラケットが落下し、けがをするおそれがあります。

ブラケット(平面コーナー用)の固定および丸棒手すりの固定

■梱包内容の確認と施工上の注意:ブラケット(平面コーナー用)

部材袋 A (仮固定用) スパナ 着脱ナット取付用ねじ 1本 皿φ4×50 丸棒手すり取付用ねじ 4本 丸皿φ3×16	部材袋 B (本固定用) 部材は2種類の袋に分かれています。 カバー裏面 ねじはカバーの裏面に貼付けてあります。 上部カバー 下部カバー 赤袋 ブラケット固定用ねじ 2本 皿φ4×50
---	---

工程

手順1 ブラケットの仮固定
 手順2 カップの調整
 手順3 丸棒手すりの固定

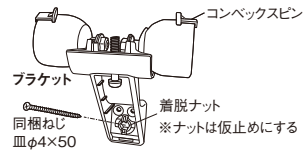
→ 手順4 手すりと金具と着脱ナットの分離

→ 手順5 着脱ナットの増締め
 ブラケットの本固定

手順1 ブラケットの仮固定

ブラケットに装着した着脱ナットを柱や下地材に仮止め固定する。

※丸棒手すりを仮置きしブラケットの位置を確認してください。



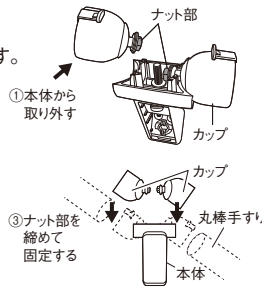
手順2 カップの調整

① カップのナット部をゆるめ、本体から取り外す。

② 丸棒手すりの取り付け角度に合わせカップの向きを調整する。

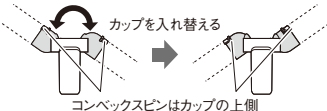


③ 調整後、カップを本体に戻しナット部を締めブラケットに固定する。
 ※左右同じ要領で固定してください。



■丸棒手すりの上下方向が変わる場合

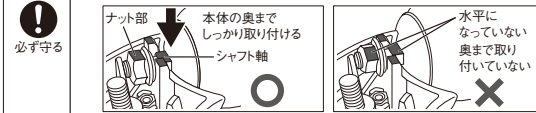
コンベックスピンがカップの上側にある必要があります。手すりの上下方向が変わる場合はカップを入れ替えてください。



警告

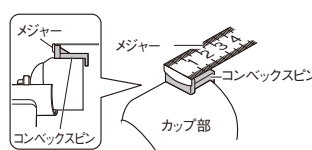
●カップのシャフト軸・ナット部は必ず本体に水平になるように取り付ける。カバーがきちんと締まらず、丸棒手すりが落ち、けがをするおそれがあります。

■の部分に水平にあわせてください。

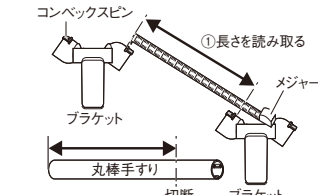


手順3 丸棒手すりの固定

① コンベックスピンにメジャーを引っ掛け、読み取った長さに丸棒手すりを切断する。

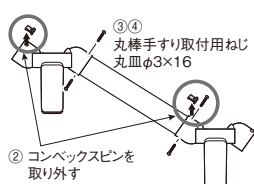


② コンベックスピンをカップから取り外す。



③ 丸棒手すりに下穴(約φ2.0mm)をあける。

④ 同梱のねじで丸棒手すりを取り付け。



手順4 丸棒手すり和金具と着脱ナットの分離(着脱する場合)

① ブラケット本体からカップと丸棒手すりを取り外す。



② 着脱ナットを反時計回りに回し、ブラケットと着脱ナットを分離させる。

※この時点では、着脱ナットのみが壁にねじで取り付けられている。

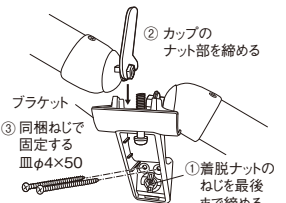
【クロス貼り工程】※クロス貼りより前に仮施工する場合

手順5 ブラケットの固定

① クロス貼りの後、再びブラケットを着脱ナットに装着し着脱ナットのねじを最後まで締める。

② カップと丸棒手すりを本体に取り付け、カップのナット部を締める。

③ 同梱ねじ(赤袋、カバー梱包分)でブラケットの2か所を固定する。



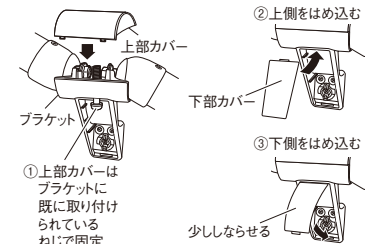
手順6 カバーの取り付け

① 上部カバーをねじで固定する。

② 下部カバーの上側をブラケットのツメに合わせてはめ込む。

③ 下部カバーの下側をブラケットのツメに合わせてはめ込む。

注意 上部カバーとブラケットの間にすき間がないか、カップのガタツキはないか確認してください。



ブラケット(入隅コーナー用)の固定および丸棒手すりの固定

■梱包内容の確認と施工上の注意:ブラケット(入隅コーナー用)

部材袋 A (仮固定用) スパナ 着脱ナット取付用ねじ 1本 コーススレッドφ4.2×100 丸棒手すり取付用ねじ 4本 丸皿φ3×16	部材袋 B (本固定用) 部材は2種類の袋に分かれています。 カバー裏面 ねじはカバーの裏面に貼付けてあります。 上部カバー 下部カバー 赤袋 ブラケット固定用ねじ 3本 コーススレッドφ4.2×100
--	--

工程

手順1 ブラケットの仮固定
 手順2 カップの調整
 手順3 丸棒手すりの固定

→ 手順4 手すり和金具と着脱ナットの分離

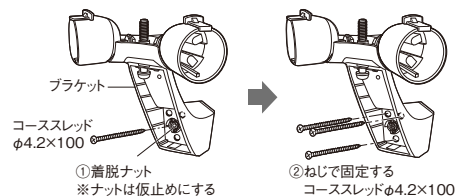
→ 手順5 着脱ナットの増締め
 ブラケットの本固定

手順1 ブラケットの仮固定

① ブラケットに装着した着脱ナットを柱や下地材に仮止め固定する。

② ブラケットを柱や下地材に同梱のねじで固定する。(着脱ナットを90°回し、仮固定する)

※丸棒手すりを仮置きしブラケットの位置を確認してください。



手順2 以降は「ブラケット(平面コーナー用)の固定および丸棒手すりの固定」の手順2〜6と同様の施工を行ってください。

連続手すり 1500mmピッチタイプ・ストロング

ベリティス
商品 P.1164



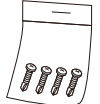
施工のポイント(寸法単位:mm)

施工手順

出隅部の固定

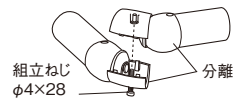
■梱包内容の確認と施工上の注意

丸棒手すり
取付用ねじ 4本
丸皿φ3×16



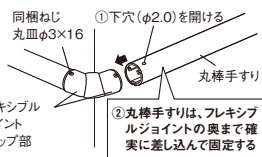
フレキシブルジョイント

■パーツの分離法



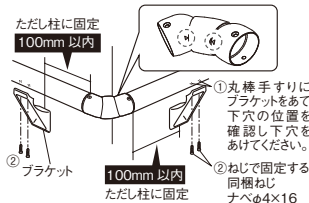
手順1 コーナー用部材と手すりの固定

- ①丸棒手すりに下穴(約φ2.0mm)をあける。
- ②図のように、フレキシブルジョイントの両側(カップ部)に丸棒手すりを奥までしっかり差込み、同梱のねじで固定する。



手順2 ブラケットと手すりの固定

- ①フレキシブルジョイントの可動方向(カップの△の方向に動きます)をさぐりながらブラケットにのせる。
- ②丸棒手すりがブラケットの受け部に完全に密着する位置で丸棒手すりとブラケットを固定する。

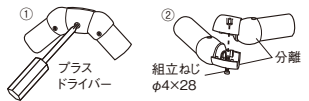


手順3 カバーの取り付け

丸棒手すり全体の取り付けが終わった後、施工後の確認をしてからカバーを取り付ける。

■クロス貼りなどで丸棒手すりを外す場合

- ①プラスドライバーを使用し、中心部に取り付けられているねじを外す。
- ②パーツを分離する。



ブラケット(笠木取り付け用)の固定および丸棒手すりの固定

■梱包内容の確認と施工上の注意

ブラケット本体
カバー
着脱ナット



着脱ナット取付用ねじ 1本
皿φ4×50
丸棒手すり取付用ねじ 3本
丸皿φ4×16

ブラケット 固定用ねじ 2本
皿φ4×50

手順1 着脱ナットの固定

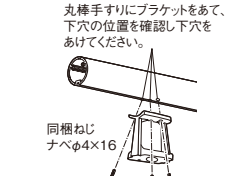
ブラケットの位置を確認し、柱や下地材に着脱ナットを固定する。



【クロス貼り工程】※クロス貼りより前に仮施工する場合

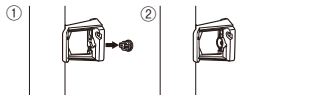
手順2 ブラケットと丸棒手すりの固定

ブラケットを丸棒手すりに密着させ、丸棒手すりに下穴(約φ2.0mm)をあけて同梱のねじで固定する。



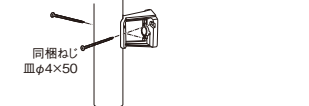
手順3 ブラケットの装着

- ①丸棒手すりを装着したブラケットを着脱ナットに装着する。
- ②着脱ナットを90°回転させ固定する。(施工前のご注意 (P.388参照))



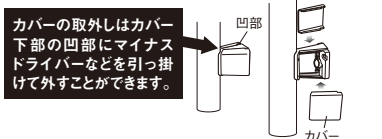
手順4 ブラケットの固定

同梱ねじでブラケットの残り2か所を壁に固定する。



手順5 カバーの取り付け

カバーの取外しはカバー下部の凹部にマイナスドライバーなどを引っ掛けて外すことができます。



スタート金具の固定(※着脱できません)下記手順は床~天井に手すりを固定する場合

■梱包内容の確認と施工上の注意

カバー
台座



台座取付用
ねじ 3本
皿φ3×30

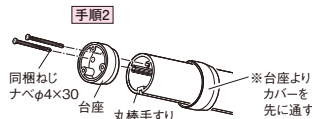


丸棒手すり
取付用ねじ
2本
ナベφ4×30



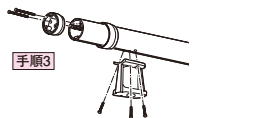
手順1 丸棒手すりの加工

床~天井の高さ寸法を測る。
床~天井の高さ寸法>-27.6mm
の長さで丸棒手すりを切断する。



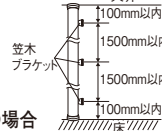
手順2 丸棒手すりとスタート金具の固定

丸棒手すりの両端にスタート金具台座を同梱ねじで取り付け。(カバーを先に丸棒に通してください)



手順3 ブラケットの装着

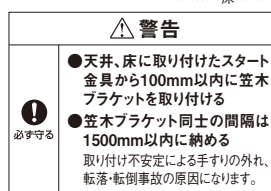
ブラケット(笠木取り付け用)を丸棒手すりに取り付ける。
※ブラケット(笠木取り付け用)の固定および丸棒手すりの固定をご参照ください。



手順4 天井、床への取り付け

天井と床の取り付け位置に手すりを合わせ、天井と床にスタート金具を同梱ねじで取り付け。

玄関プランの場合



手順5 カバーの取り付け

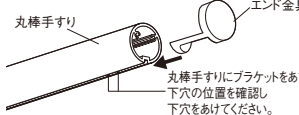
台座にカバーをかぶせる。



エンド金具の固定

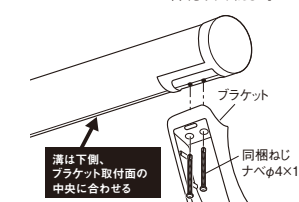
手順1 ブラケットの仮固定

ブラケットに同梱の着脱ナットを柱や下地材に仮止め固定する。(P.388参照)



手順2 エンド金具の取り付け

丸棒手すりに下穴(約φ2.0mm)を2か所あけ、丸棒手すりにエンド金具を取り付ける。



手順3 エンド金具の固定

ブラケットと丸棒手すりエンド金具をはさみブラケット同梱のねじで固定する。
ブラケット(壁付け用)の固定および丸棒手すりの固定については(P.388参照)

エンドブラケットの固定(※着脱できません)

■梱包内容の確認と施工上の注意

カバー
エンド
ブラケット
本体



固定用ねじ 3本 皿φ4×50
丸棒手すり取付用ねじ 2本 ナベφ4×30
カバー取付用ねじ 2本 タップタイト皿φ3×8



エンドブラケットを取り付ける場合、下図のように取り付け間隔を必ず厳守する。



手順1 手すりとブラケットの固定

丸棒手すりを同梱のねじで固定する。



手順2 ブラケットと下地材の固定

同梱のねじで下地材等に固定する。



手順3 カバーの取り付け

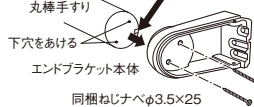
カバーをスライドさせて本体に取り付け、同梱のねじで固定する。



L型・I型セットの施工手順

手順1 手すりの位置だし(寸法は下図、L型セット・I型セットを参照)**手順2** 手すりとブラケットの固定

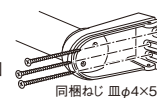
丸棒手すりに下穴(約φ2.5mm)をあけ同梱のねじで固定する。



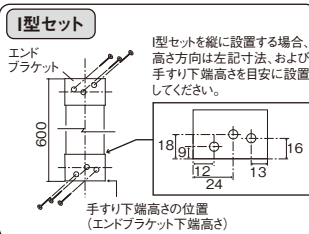
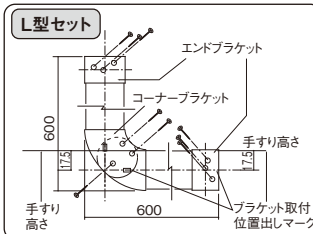
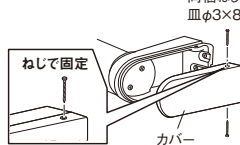
溝を下向き(壁側)にして取り付ける

手順3 ブラケットの固定

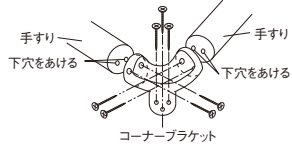
同梱のねじで下地材等に固定する。

**手順4** カバーの取り付け

カバーをスライドさせて本体に取り付け、同梱のねじで固定する。



〈コーナーブラケットの場合〉



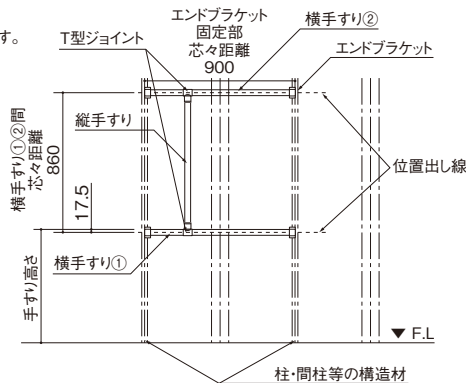
注意

- ・材割れ防止のため、必ず下穴(約φ2mm)をあけてからねじを取り付ける。
- ・材割れ防止のために、必ず目地を下にして取り付ける。

H型セットの施工手順

手順1 墨出し

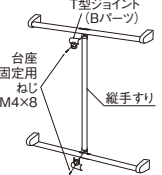
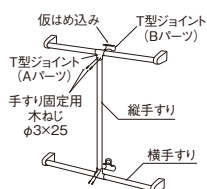
横手すりの位置出しをします。(寸法は設置例参照)

**手順2** 縦手すりの固定

希望設置位置にT型ジョイントAパーツ(上下共)と縦手すりを横手すりの正面からあてがい、T型ジョイントBパーツを壁面側から仮はめこみし、縦手すり①とT型ジョイントAパーツを同梱の手すり固定用木ねじで固定します。

縦手すりをいったん取り外し、壁面側から縦手すりを横手すり①にあてがい、正面からT型ジョイントBパーツをはめ込み、同梱の台座固定用ねじで固定します。

縦手すりの設置位置を確認し、T型ジョイントBパーツと横手すりを同梱の手すり固定用木ねじで固定し、カバーを取り付けます。



警告

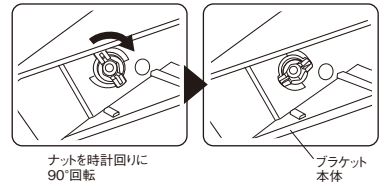
！ 必ず守る

材割れ防止のため必ず下穴(約φ2.5)をあけてから各ねじを取り付ける

内廻りセットの施工手順

ブラケットを仮固定する前に

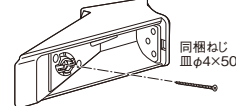
1. ブラケット本体と付属の着脱ナットをあらかじめ装着してください。
2. 着脱ナットは時計回りに90°回転させてしっかりと装着してください。

**手順1** 位置決め

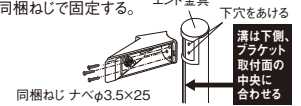
手すりの取り付け位置を階段形状に合わせて決め、必要な場合は丸棒手すりをカットします。手すりの位置は階段や壁の形状によって変わります。下記の取り付け位置参考資料でご確認ください。

手順2 仮止め

ブラケットに装着した着脱ナットを柱や下地材に仮止め固定する。

**手順3** ブラケットと丸棒手すりの固定

- ① ブラケットと丸棒手すりではエンド金具をはさみ、下穴(約φ2.5mm)をあけた丸棒手すりに密着させる。
- ② 同梱ねじで固定する。

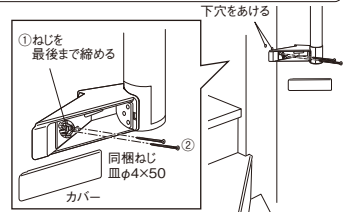
**手順4** 手すりとの分離(着脱する場合)

ナットを反時計回りに回し、手すりとの分離させる。(上記「ブラケットを仮固定する前に」参照) ※この時点では、ナットのみが壁にねじで取り付けられている。

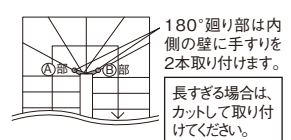
【クロス貼り工程】※クロス貼り前に仮施工する場合

手順5 ブラケットの固定

- ① 再びブラケットを着脱ナットに装着し着脱ナットのねじを最後まで締める。
- ② 出隅用ブラケットを同梱ねじで柱や下地材に2か所固定する。
- ③ カバーをブラケットとエンド金具のツメに合わせてはめ込む。

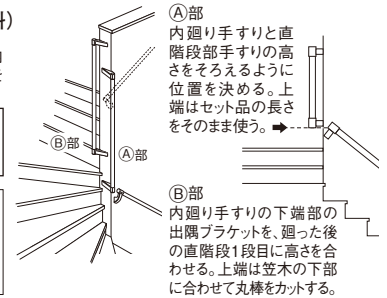


手すりの取り付け位置(参考資料)



注意

- ・材割れ防止のため必ず下穴(約φ2.5)をあけてからねじを取り付ける
- ・材割れ防止のために、必ず溝を下にして取り付ける



施工後の確認

■施工が完了したら、手すりにガタツキがないか、金具部のねじが確実に締結されているか、確認してください。緩みがあれば確実に締め直してください。



すき間やがたつきがある場合は、上下部カバーを取り外し下記を確認してください。

- | | | |
|---|---|--|
| ☐ カップはブラケットにきちんと取り付けられていますか? (P.389参照) | ☐ カップのナット部はしっかりと締め付けられていますか? (P.389参照) | ☐ 手すりとのがたつき、ぐらつきはないか? |
|---|---|--|

■再度以下の項目について確認ください。

安全上のご注意

ブラケットの取付間隔は1500mm以内に取り付ける。エンドブラケットやフレキシブルジョイントなど金具部材がくる場合、金具から100mm以内にブラケットを取り付ける。手すりの破損、金具の外れが生じ、転落・転倒事故の危険があります。

内装ドア

開き戸・引戸

折れ戸

戸襖ドア・戸襖引戸

幅広上吊り引戸

自動ドア

しきり窓

室内窓

収納用建具

折れ戸

3枚連動引戸

開き扉

収納用内部パーツ

玄関用収納

クロークボックス

エントランスパーツ

コンボリア

造作部材・腰壁部材

スリット格子

窓枠セット

ジャストカットオーダー

インテリアカウンター

階段・手すり

防音建材

室内物干しユニット

床下収納ユニット

点検口

はしごユニット

補修用部材

はしごユニット

補修用部材

補修用部材

補修用部材

補修用部材

補修用部材

補修用部材

補修用部材

補修用部材